



2024 年度附属図書館 LA セミナー 「キャリアデザイン LAB～現役大学院生から見た進路選択のリアル～」 を開催しました！

11月15日（金）、中央図書館本館2階ラーニング・スクエアにおいて、LA（ラーニング・アドバイザー）によるキャリアデザインに関する相談会を開催しました。

大学生にとって進路選択は大きな悩みの一つですが、キャリアの選択肢を知る機会や調べる時間が十分に取れないのが現実です。そこで、キャリアを進めた大学院生である LA が、その経験を基にリアルな進路選択の実例を共有し、新たな気づきを提供する場を作りたいという思いから、この企画が立ち上がりました。

本 Prism では、当日のイベントの様子をお届けします。

イベントの流れ

本イベントでは、参加者が「理系院進」「文系院進」「留学」「就活・教採」の4つのテーマ別グループから興味のあるものを選び、前後半2回のセッション（各25分）に参加する形式で進行しました。各セッションの冒頭では、担当 LA が自身の体験談や進路選択にまつわるエピソードを発表し、その後は参加者との座談会形式で自由に質問や相談を受け付けました。終始リラックスした雰囲気の中で、活発な意見交換が行われました。

各グループの LA より

理系院進グループでは生命農学学位Pの博士後期課程に在籍するLA2名が発表しました。学類と大学院の違いから説明し、院試までのスケジュールについてまとめて解説しました。参加者は博士前期課程への進学を考えていたため、LA の実体験をもとに奨学金の獲得方法や研究生活に向けたアドバイスを提供しました。時間が限られていたので具体的な話はできませんでしたが、もっと詳しく知りたい！という方はぜひ学生サポートデスクにお越しください！（SAVAGE）



文系院進グループでは、人文学学位 P と教育学学位 P に所属する LA2 名がそれぞれの経験をもとに、「院進前・入試・進学後のギャップ・今後」について発表しました。その後の質疑応答では、参加者の皆様から、金銭面や入試前の準備、院生生活の多忙さなどについてお悩み相談や質問があり、LA からは大変な点と一方で充実している点などを中心にエピソードを交えてお答えさせていただきました。理系と異なり文系院進はかなりの少数派のため、相談できる場が少ないと感じています。困ったときはいつでもサポートデスクにご相談ください！（SONE）

留学グループでは、2名のLAによるアメリカ・イギリスへの語学留学、タイ・韓国への交換留学に関する体験談をもとに、留学を具体的かつ身近に感じられるようなトークセッションを実施しました。留学に行きたくても、実際に行くには不安や難しさを感じてしまうという声を多く耳にしますが、大学等が提供する



海外留学プログラムはとてもサポートが充実していて、初めて留学するには非常に有効的だと思います。また、明確な目的や語学力を持たずとも、まず留学してみることで、交流の幅や視野の拡大につながり、その後のキャリアに何らかの影響をもたらしてくれる可能性大です。海外留学に関心のある方は、まずは短期からでも、ぜひ挑戦してみてください。はいかがでしょうか。(YOSHIKAWA)

就活・教採グループでは、今年度修了予定のLA2名と、就職活動中のLA1名が登壇し、自身の経験や進路を決める際に大切にしていた考え方について語りました。発表後の質疑応答では、参加者から具体的な悩みや質問が多く寄せられ、それに対してLAが自身の実体験や得た知見を交えながらアドバイスを提供しました。進路に関しては、大学のキャリア支援チームによるサポートもありますが、大学院生の「生の声」を聞ける場として、サポートデスクへのご相談もぜひご利用ください！(SHINTANI)



あとがき

当日は10名を超える方にご参加いただきました。少人数ならではの和やかな雰囲気の中で、深い悩みや相談にもじっくり向き合うことができましたと感じています。ご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。

筑波大学附属図書館では、このほかにもさまざまなイベントを随時開催しています。開催情報はWebページやX(旧Twitter)などで発信しておりますので、興味のあるイベントがございましたら、ぜひお気軽にご参加ください！

学生サポートデスクで相談してみよう！

大学院生であるLAが、筑波大生の皆さんの学習や大学生活の悩みをサポート！！
皆さんと対話を通して一緒に考え、LA自身の経験に基づいて精一杯アドバイスします

